

知る

緊急時は、正確な情報をできるだけ早く受け取ることが大切です。スムーズな情報収集のために、事前に登録をしておきましょう。

防災行政無線情報ダイヤル ☎ 246 - 1000
(無線放送の内容を聞くことができます)

災害情報を収集できるようにしましょう



↑
ほっとHOTOメール
登録方法



↑
Yahoo! 防災速報
登録方法



↑
市公式LINE
登録方法



備える

災害発生後 72 時間の最優先事項は人命救助です。公的機関は生存者の捜索を優先して行うため、支援が始まるまでの期間 (= 3日間) を自力で過ごすための備蓄が最低限必要です。また、電気・水道・ガスなどのライフラインや交通網の被害に備えるためには、1週間生活するための備蓄が必要になります。

備えてる？ 避難グッズチェックリスト

※これは一例です。家族と備品・備蓄について話し合ってみましょう



食事
 飲料水
 非常用食品



情報収集
 懐中電灯
 携帯ラジオ



貴重品類
 現金
 通帳・ハンコなど



バッテリー類
 モバイルバッテリー
 電池



医薬品
 常備薬
 救急用品



衛生用品
 ティッシュ類
 ビニール袋
 歯ブラシセット



防寒対策
 タオル
 衣類



必要に応じて備蓄するもの
 ベビー用品
 介護用品 生理用品
 軍手 マスク など

予防する

地震は減らせない。でも、被害は減らせる。

建物倒壊を未然に防ぐ！

過去の地震による建物倒壊などの被害は、昭和56年5月以前の住まい(旧耐震基準の住宅)に多く生じています。これらの住まいについて、耐震診断や耐震改修の補助を実施しています。また、耐震改修には定額150万円という全国的にも手厚い補助制度があります。ぜひ検討してください。



☎ 建築住宅課 ☎ 227 - 6087

危険なブロック塀はありませんか？

地震でブロック塀が倒壊すると、人的被害や避難・救助活動の支障となる恐れがあります。日頃から安全点検を行い、危険なブロック塀を無くしましょう。また、市はブロック塀を除却して生け垣などを設置する工事に補助金を交付しています。こちらも活用ください。



☎ 建築住宅課 ☎ 227 - 6087

—特集—

「防災力」を鍛える

震度6強の地震

地震大国である日本では、これまで平成7年の兵庫県南部地震、平成19年の能登半島地震、そして平成23年の東北地方太平洋沖地震などの地震が発生し、多くの被害をもたらしました。また、今後も大きな地震が予測される断層が全国各地にあります。

野々市市への大きな影響が予測されているのが森本・富樫断層。この断層を震源とする地震が起こると、市内では最大震度6強が観測される恐れがあり、想定避難者数は2500人にも上ります。

被害を減らすために

地震などの災害は、いつ私たちに襲うか分かりません。しかし、災害による被害を減らすための行動は今すぐにも始められます。市総合防災訓練や町内会の自主防災訓練に参加することや、避難所の場所や備蓄品などの確認をすることも被害を減らす行動の一つです。

必要な備えは人それぞれ。いざという時に自分や大切な人の命を守るように、今できる備えについて考えていきましょう。

防災に関する問い合わせ

総務課 ☎ 227・6051

9月24日(日)の防災訓練の様子です。

